

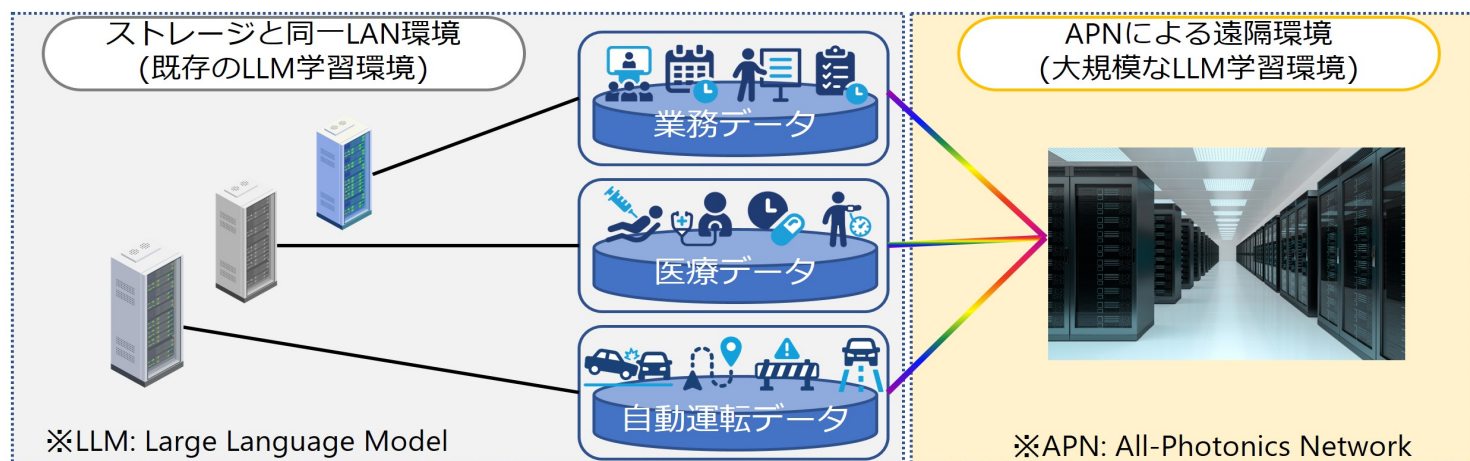


背景

tsuzumiを含む大規模言語モデルや多くのAIにとって大量かつ良質な学習データを用意することは重要です。企業では各部署で集められたデータが拠点ごとに分散してしまう傾向にあり、そのデータの共有と有効活用が課題となっています。

成果の概要

次世代の通信ネットワークであるAll-Photonics Network (APN) で拠点間を接続し、データを遠隔からでも、あたかも同一拠点にあるLAN環境のように扱うことができます。テラ・ペタクラスの学習データの複製を回避し、速やかな学習開始します。



技術のポイント

- NFS over APNによる伝送遅延を感じることのない遠隔のデータ利用
- 拠点がが増えてもAPNなら線を1本追加するだけで全拠点を接続可能
- 学習前に大量データを計算機のある場所へコピーする作業を割愛

この研究がもたらす未来

データ流通が活発化することでtsuzumiを含む大規模言語モデルはより深化します。より賢く、よりエキスパート性をもった知能がスマートで持続可能な社会の実現に貢献していくでしょう。

出展企業

日本電信電話株式会社

問い合わせ先

rdforum-exhibition@ml.ntt.com